

地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業 大分県の事例（2021年度～）

<取組の内容>

【実施体制の整備】

- 県内の「地域若者サポートステーション」、「ジョブカフェ」、「ハローワーク」と教育委員会や青少年、労働部局等が連携して実施体制を整備するとともに、高等学校内に学習スペースの設置や、NPOを活用した学習支援も実施。

【学習相談・学習支援の実施】

- 「おおいた学びのステップアップ協議会」を年に2回開催し、関係機関との情報共有を図り、利用者のニーズ把握や必要な支援に関する議論を行い学習相談・学習支援に活用。
- 原則利用者及び必要に応じて保護者との個別面談を行うことで、状況に応じたきめ細かな支援を行うとともに、交通費負担の軽減や、複数人での学習に負担を感じるケースもあることから、電話やメールを活用した相談対応等の取組も積極的に実施。

【広報の取組】

- チラシ・ポスターを若者が立ち寄りやすいコンビニや自動車学校等や高等学校や中学校に設置。また、県の広報誌や広報番組等を活用した広報を実施。

<取組の成果>

- のべ100名以上が事業を利用し、実利用者の4割程度が高卒認定試験や高等学校に合格、就職を果たした。

<今後の取組>

- 利用者の交通アクセス等に課題があるため、訪問型授業やSNSの活用、サテライト会場の充実等を目指す。
- 教育機関や、教職員が集う会議等で事業の周知を行い、高校中退前に対象者に関する情報の捕捉を行う。
- 関係機関との連携体制を強化し、日常的に情報交換できる環境を整備するとともに、高卒認定試験合格後の、就職や進学に対応できる仕組み作りも促進する。